







セッションについて

- サーバ側にデータを残す手法
- Webアプリケーションに必須の機能
- 仕組み
 - セッションを作ったときに、クライアントにその 識別情報をクッキー等で渡す
 - 次回のアクセスで、クライアントが識別情報を サーバに渡す
 - 記録しているデータを呼び出す

セッションの必要性

- Webは継続したコネクションではない
- 以前のデータを残しておいて別のところで 使いたいことはよくある
- 例
 - 検索条件

コネクションの意味

- 更 データベース接続
 - 100以内の数値に設定
 - タイムアウトは既定値は15分
 - コネクションのカウントをオフにして、無制限に接続も 可能(ただし、セッションの機能が使えなくなる)
- Webセッション
 - データベースとは別
 - サーバ稼働マシンのメモリに依存

XMLベースのカスタム**Web**

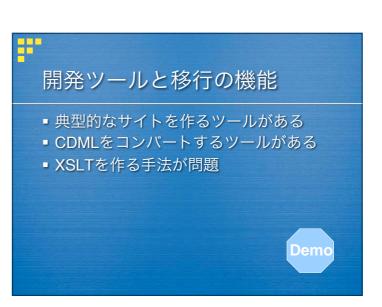
- リクエスト: HTTPのGET/POST
- レスポンス:XMLでのデータ
 - データ形式はfmresultset
 - 全データがまとめてやてくる
- XSLTでHTMLに変換
 - XSLT、Xpath等の知識が必要
 - FileMaker独自の関数などがある



XMLについて テキスト! コンテンツが何かという説明を含んだデータ 応用範囲が広く、OSやシステム等で利用が進んでいる 一般ユーザは目に触れることはない















```
得られるXML(fmresultset)

- <record mod-id="1" record-id="36564">
- <field name="郵便番号">
- <data>1066025</data>
- </field>
- <field name="都道府県">
- <data>東京都</data>
- </field>
- <field name="市区町村">
- <data>港区</data>
- </field>
- <field name="市区町村">
- <data>港区</data>
- </field>
- <field name="m名">
- <data>ボーデンタワー(25階)</data>
- </field>
- </field>
```



